

「市民アンケートを通じたイベント実施への考察」

東北森林管理局 指導普及課 倉本敬史

1 はじめに

東北森林管理局では、国有林等において市民の方々に森林とふれあう場を提供するため、さまざまなイベントを行っています。

今年度、私が当課で実施しているイベントにスタッフとして携わってきましたが、参加者にお年を召した方が多かったことや、様々な質問を受けている内にいくつかの疑問が湧いてきました。そこでイベント応募者の年齢構成を調べてみたところ、50才以上の応募者の割合が96%となっていました。

そして私の疑問ですが、大きく分けて2つになります。①幅広い年代にイベントに参加してもらうにはどうしたらいいか？②市民の方々は森林に対して何を期待しているのか？そこで、この疑問の答えを探すべく「森林についてどの程度知っているか」「森林に何を期待しているか」「森林におけるイベント」「参加しやすいイベントとは」の4つの内容で秋田市民を対象にアンケート調査を実施したところ、607名からの回答をいただきました。それを15年前の同様の調査結果と比較したので発表します。

2 調査方法

アンケートは1回目を秋田市民市場（12月23日～24日）、2回目を秋田市民交流プラザアルヴェ（1月8日）にて行いました。

アンケート調査風景

	実施箇所	回答数
今回のアンケート調査	①秋田市民市場 ②秋田市民交流プラザアルヴェ	607人
前回のアンケート調査	秋田総合生活文化会館アトリオン	668人



3 調査結果

(1) 「森林についてどの程度知っているか」について

「人工林と天然林の違いを知っているか」と聞いたところ、「知っている」と答えた人は前回同様全体の63%でした（表1）。林業の盛んな秋田での調査なので、もう少し多く知っていると思いましたが意外に低い数字でした。また年齢が高くなるにつれて「知っている」と回答した割合は高くなっており、この傾向は前回調査と大きな違いはありませんでした。

表1「人工林と天然林の違いを知っているか」の質問に「知っている」と答えた人

		(%)						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70～
今回	世代別	50	42	68	66	78	73	84
	40才で区分	52			74			
	全体	63						
前回	世代別	47	44	56	69	72	82	80
	40才で区分	48			75			
	全体	63						

(2) 「森林に何を期待しているか」について

「地球温暖化の防止」「空気の浄化」「動植物の保護」「木材の生産」「水源涵養」「国土の保全」「特に無し」「その他」という選択肢の中から複数回答で選んで頂いたところ、前回調査と同じくほとんどの人が森林に対して何かしらの機能の発揮を期待していますが、その期待する内容には前回調査と大きな違いができました(図1)。前回調査では「空気の浄化」が一番多かったのに対し、今回調査では前回調査で4番だった「地球温暖化の防止」が1番になり、最も期待を寄せていることが判りました。

さらに、これを世代別に見てみると、「地球温暖化の防止」は全世代で期待度が高いこと、「空気の浄化」「動植物の保護」は世代間の差がないことがわかります(図2)。

また、若い世代は他の世代と比べて「地球温暖化の防止」「空気の浄化」「動植物の保護」の機能に期待していること、世代が進むにつれて偏りは小さくなり全ての機能について期待していることがわかりました。

これは、今の若い世代には森林・林業に親しむ機会が少なく、マスコミ等限られた情報で森林をとらえているのではないかと考えます。

図1「森林に何を期待しているか」

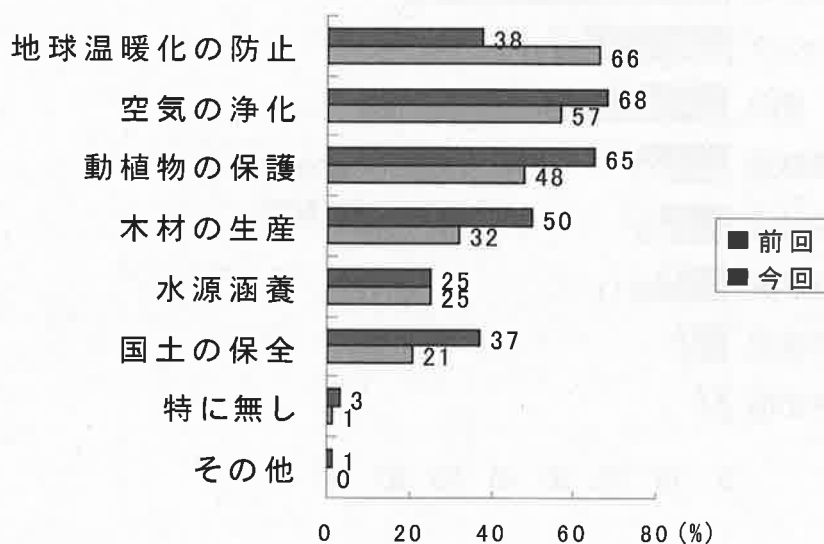
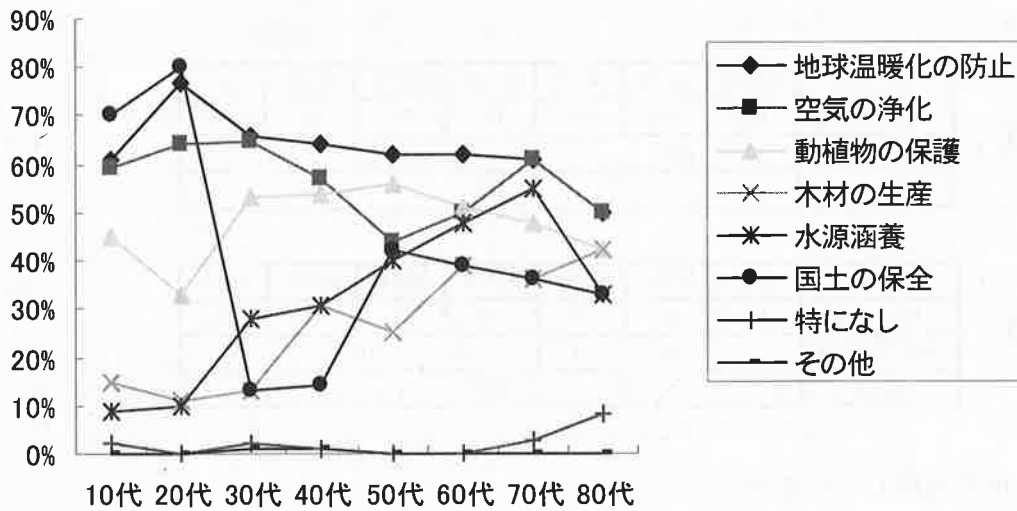


図2 「森林に何を期待しているか」(世代別表)



(3) 「森林におけるイベント」について

「自然観察会」「林間キャンプ」「登山」「サイクリングによる森林浴」「スキーによる森林浴」「体験林業」「不参加」「その他」の中から参加したいものを複数回答で選んでもらいました。その結果、全体で参加希望の割合が高いものは「自然観察会」であり、「不参加」という回答は6%と低く、イベントについてほとんどの人が興味を示していることが判りました(図3)。

これを世代別に見てみると若い世代は「林間キャンプ」への参加希望が高く、年代が高くなるにつれて「自然観察会」への参加希望が高くなっています(図4)。この違いは体力的な事が理由だと考えられます。実際にアンケート回答者が「私たちは若い人と違って体力がないから参加するなら自然観察会」と話していた方が多かったです。

図3 「森林におけるイベントで参加したいもの」

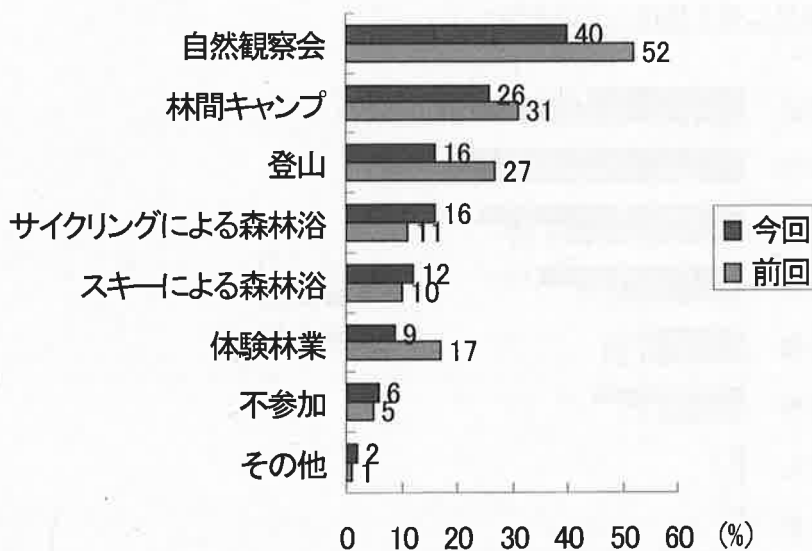
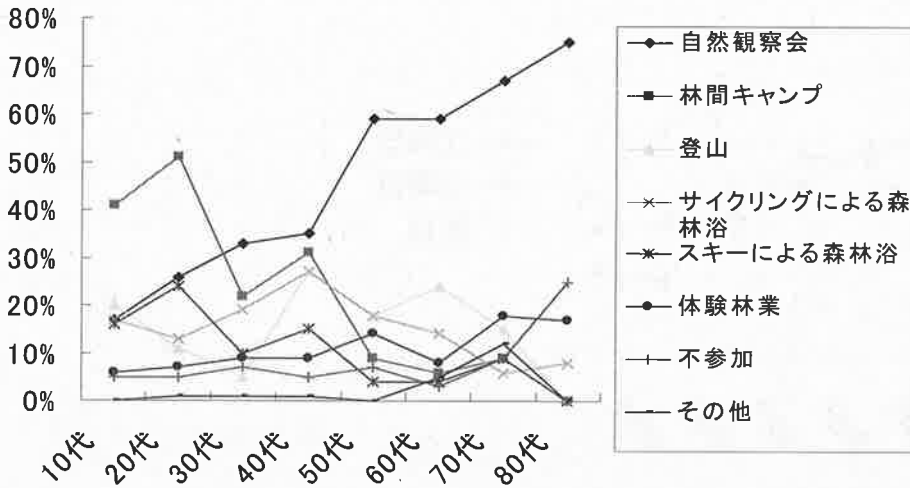


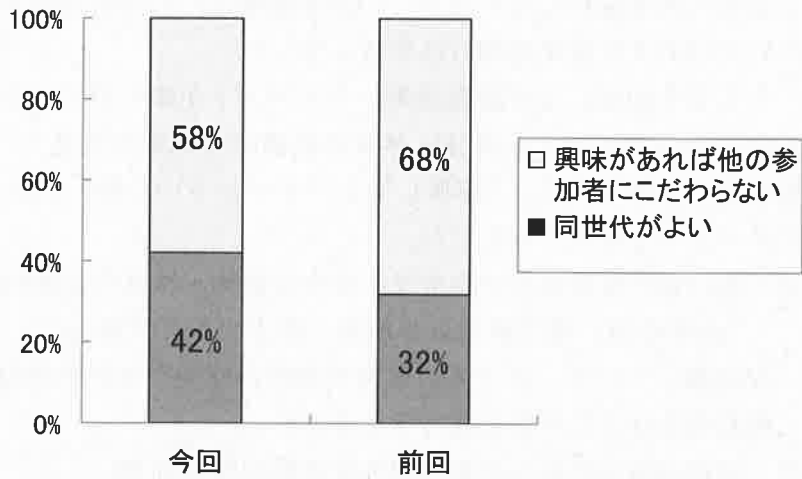
図4 「森林におけるイベントで参加したいもの」(世代別表)



(4) 「参加しやすいイベントとは」について

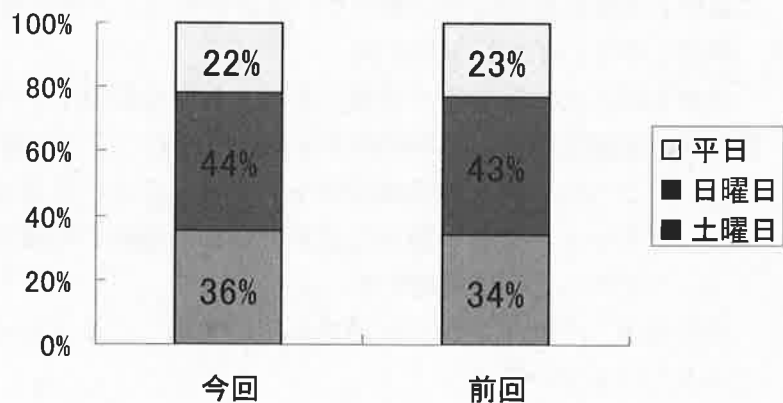
イベントに参加する場合の他の参加者の世代について聞いてみたところ「同世代がよい」と答えた割合が42%で過去のアンケートよりも10%高い割合となり、同世代を好む傾向が高まっていました(図5)。

図5 「イベントに参加する場合の他の参加者の世代」について



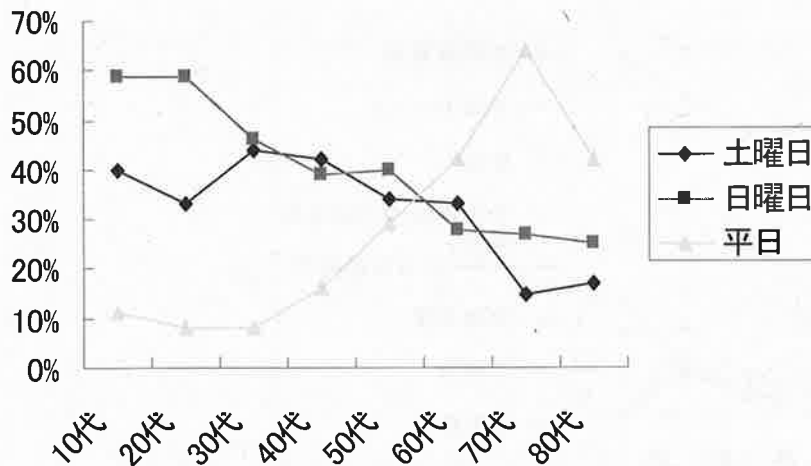
イベントの希望日について、平日、土曜、日曜という選択肢から選んでもらいましたが、前回と同じ傾向となっていました(図6)。

図6 「イベントの希望日」について



これを世代別に見てみると、50才未満の平日参加希望が低いことがわかりました(図7)。

図7「イベントの希望日」について（世代別表）



4 考察

以上のとおり、今回のアンケート調査結果で前回調査と大きく変化のあったところは、「森林に何を期待しているか」の地球温暖化への関心が高まっている事です。それ以外についてはあまり変化は見られませんでした。

そこで今回は、この調査結果からイベント企画のポイントを自分なりに「若い世代を含めた一般市民に対する森林・林業の基礎的な知識の普及」「地球温暖化防止への東北森林管理局の取組をPR」「参加しやすいイベントの企画」の3つに設定し、それぞれ対応するメニューを考えてみました。

(1) 若い世代を含めた一般市民に対する森林・林業の基礎的な知識の普及

「森林の市」や「親子森林教室」など当局で実施しているイベントで、森林の基本的な知識について、クイズの実施や森林の役割や木材生産のパネル展示・パンフレットの配布等を行うことが必要と考えます。

(2) 地球温暖化防止への東北森林管理局の取組をPR

地球温暖化防止への取組紹介を行い、間伐等森林整備を行っているところや木材を利用した治山工事等の見学をイベントのメニューに加えること、森林学習等のイベント時に森林と地球温暖化防止の関わりを紹介を行うことが必要と考えます。

(3) 参加しやすいイベントの企画

対象を絞った内容でその対象にあった日時を設定し、内容に合わせた森林の知識の普及や地球温暖化防止への取組紹介を組み入れることが必要と考えます。

例： 2つの森林を知る林間キャンプとして、一日目は天然林内で二日目は人工林内でキャンプを行い様々な活動を通じて森林の知識を学ぶ。対象は若い世代であることから土日に実施する。

来年度は、今回アンケート調査を行い考察したことをイベントの企画や実施に役立てていきたいと思えます。